

## 第7回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 委員発言要旨

日時：平成29年10月27日（金）10:00～12:00

場所：トキハ会館5階「ローズ」

No.	項目	発言要旨
1	高齢者雇用	<p>健康寿命の日本一の取組についていろんな取組が入っているが、心と体の健康維持で考えたときに、運動や食事や人との交流だけでなく、一番は労働、働き続けられることなのかなと思う。</p> <p>年齢・体力にあった働き方がずっとでき、働くことで自分の役割とか存在意義を感じられることが、元気に活躍できることであり、長寿に結びつくことだとおもうので、そういった高齢者の働き方についていろいろな取組をしていただきたい。</p>
2	介護	<p>介護分野での人手不足に対しては、国がやっと外国人の技能実習制度に介護補助人材を入れてくれて、新年度から本格的にインドネシア、フィリピン、台湾、ベトナムなどの親日国から、本格的に外国人の実習生が入ってくる。</p> <p>私どもも受入れに対する整備を本格化させているところであり、日本に海外実習に来てよかったと思ってもらえるように、しっかりとおもてなしをするつもりだが、間違いがおこらないように、私たちと一緒にやっていただきたい。</p>
3	障がい者雇用	<p>障がい者の雇用率日本一の雇用率の観点から考えると、雇用率の算定は大分県に本社のある企業へ就職した場合に算定されるので、県外の大手企業に採用されるのはありがたいことであるが、地場の企業への採用について後押しをしていただきたい。</p> <p>さらに、就職はしてみたものの、なかなかその仕事に合っていなかったという人もいる。無理して働くよりも本当にあったところにきちんと転職できるような支援があると雇用率がさらに伸びていくと思う。</p> <p>また、今年の春に出た国の通知により、就労継続支援A型事業所において、これまで基準どおりにやっていたところは非常に負担になり、岡山県では一挙に580名解雇されたということがあった。大分県でもそういうことが起こらないように、補助金を出すだけでなく、技術的支援などの側面的支援に力を入れていただきたい。</p>
4	エネルギー	<p>エネルギー問題は、温暖化防止、防災、産業振興等の面から重要な課題だと思うが、「平成30年度県政推進指針」において、エネルギーについて直接述べているところは少なく、書きぶりもトーンが弱いように感じたため補足の説明をお願いしたい。</p>
5		<p>再生可能エネルギーにおいては、「促進」と「暮らし、環境、景観、文化等の保護」は、対立する問題であり、この点で商工労働部と生活環境部が十分に連携し、大分県としての姿勢を明確にしながら判断を下していかなければならないところだと思う。この点について、両部はどのような連携体制を組んでいるのか説明をお願いしたい。</p>
6	食育の推進	<p>来年6月に食育推進全国大会が大分県で行われるがなかなか動きが見えてこない。県政推進指針の中に「食育活動の推進」と「ごはんの日を中心にした」と文言は並んでいるが、現実的に実践にどう移すかということがやはり重要だと思っている。</p> <p>実際には6月の話であり、直前になって急に告知をしたところで、県内の気持ちの醸成というのはすぐにはできないと思うので、できるだけ早く食育推進全国大会があるということをもとに食の活性化に取り組んでいただきたい。</p>
7	小規模集落	<p>小規模集落では、人材的にも経済的にもコミュニティビジネスをやるような体力がなくなっている。くらしの和づくり応援事業は単年度で行う事業であり、こういう地域に対して単年度でとりあえず方向性を定めたとして、2年度目以降継続させるための対応を考える必要がある。</p> <p>事務局的な機能を持たないと事業を継続することは難しいため、ネットワークコミュニティの核となる事務局機能に対する経済的な支援をお願いしたい。</p>

No.	項目	発言要旨
8	県民活動	<p>人手不足と言われている中で、地域には、「地域で何かしたい」、「自分たちにできることが何かあるんじゃないか」、「こういうふうに来たらいいんじゃないか」と思っているものすごいパワーを持っている女性もいる。</p> <p>NPOと県民との協働モデルの成果やノウハウを提示して、そういった人とのマッチングをうまくすることで、地域に合った新しい仕組みが機能すると思う。</p> <p>また、地域課題を感じている女性や高齢者の声を市町村になかなか聞いてもらえないという話もいくつか聞いているので、県から市町村へ働きかけて、そういう声の拾い上げをより丁寧にしてもらいたい。</p>
9		<p>災害が起きるとここにいる委員の皆様が一生懸命取り組んでいることが全て関係してくるということを以前お話した。それぞれ一つひとつに対応するというのも大事だが、総合的にどういふような地域を描いていくのかということがなく、何もかもが単発で切れてしまうと結局地域の中では機能しないということが、被災地に入ってみるとすごく多い。全てのところが繋がりを持った中で、施策の中にお互いがきちんと連動しながらどう地域をつくっていくかということをやらないと非常に厳しいと感じている。</p>
10	防災・災害対応	<p>豪雨の際の水位情報や災害情報については、住民からすると、身近な川の増水の状況などがウェブで見られるといった情報があることによって、避難の問題や安心感に繋がってくる部分があると思う。</p> <p>したがって、これからIT化が進んでいくので、県の情報提供について、観測所の密度を高くするとか、県民に対しての情報提供の仕方といったところをもう一段レベルアップしていただきたい。</p>
11		<p>台風第18号により臼杵～佐伯間でJRが不通になっていて、代行輸送ということでバスが走っている。毎朝・毎夕、満員のバスの中に学生が押し込められて行っているが、これからセンター試験など受験期が近づいてきており非常に大変だと思う。</p> <p>同様に、臼杵～佐伯間がストップしているということは、物、人、お金の流れも、非常に悪い感じがする。今は県南だけかもしれないが、長引けば県全体の経済に影響すると思う。</p> <p>公共交通機関として県の方からは是非1日でも早い開通を強力に後押ししていただきたい。</p> <p>また、同じような台風が来ても同様の被害がでないように、県土の強靱化に取り組んだ予算をつけていただきたい。</p>
12		<p>水産業界で後継者不足の要因の最たるものは、サラリーマンと比較して所得が非常に確保しにくいということと考えている。</p> <p>また、昨年来より、アメリカの大手量販店との取引を協議してきたが、近々第1回目の輸出ができるところ。相手方も直接、漁協と取引をしたいということで、今後これが大きな戦力になっていくと思う。</p>
13	農林水産業	<p>大分という食のブランドを高めていくためには、大分ブランドと言う前に地域にある食材のブランドの向上というの、一緒にやっていただきたい。それができないかぎり、ラグビーワールドカップ等で人がたくさんみえても、食べる物がなければ、他のところに逃げてしまう。</p> <p>また、芸術文化基本法の中に食が盛り込まれたこともあり、ぜひ大分の食はすばらしいということも合わせて発信していただきたい。</p>

No.	項目	発言要旨
14	農林水産業	<p>九州農業生産額最下位からの脱出ということで、マーケットインで売れ筋商品を開発していくというのは、それは非常に正しいことと思うが、ただ商品を作るだけではなく、マーケットで勝負できるボリュームも確保していかなければならない。また、マーケットが非常に多様化する中で、マーケットをどう捉えていか、マーケットインだけでなくユーザーインまで入っていく必要があるのではないかと思う。</p> <p>そのうえで来年度水田の政策が大きく変化する中、園芸へのシフトを大急ぎで進めなければならないと思うが、一方において、園芸へのシフトはリターンも期待できるものの、かなりのリスクが伴ってくる。今まで園芸振興にかなりの予算を県からいただいているが、失敗をしている例もある。失敗を繰り返さないためにも細かい指導・フォロー等をお願いしたい。</p> <p>また、園芸へのシフトは希望者が多く、予算の都合で事業の執行が見送られているところもあるので、限られた中ではあるができるだけ配慮をお願いしたい。</p>
15		<p>全共日本一を契機にブランド力の強化とうたわれているが、畜産農家は減少傾向にあり、ブランド化されても果たして量が確保できるのかという問題があると考えます。</p> <p>また、市場で優れた牛の系統が佐賀や鹿児島など県外に買われているが、もう少し予算が付くのなら、県外に対抗するためにも、優れた系統など良いものを大分に残すという施策をお願いしたい。</p>
16		<p>今林業は、輸出を含めて流通が順調で、生産量は国産材としては伸びているが、森林を管理するという部分で非常に手薄になっている。宮崎では、所有者の管理が手薄になっているために、故意に生産量を上げようという輩が多くなっており、素材生産量200万㎡のうち4分の1が倒伐と誤伐となっている。それが刻々と大分県の南部の方にも近づいてきているので、大分県として川上の森林を守るべくシステムをつくっていただきたい。</p>
17		<p>畜産業においては、県では規模拡大するための施設整備を行う支援等はあるが、大規模化を目的にしすぎていると思う。</p> <p>50頭規模を基本にして考えたとき、今10頭20頭飼っている人が一気に50頭という規模になると、施設の建て替えや飼料を確保するための大規模な装置等いろいろな課題が生じるため、なかなかその取組ができない。</p> <p>例えば、10頭規模の生産者が10頭増えることによって20頭規模となり、それが5軒増えれば50頭規模の農家が1つできたのと同じようなことになると思う。小さな農家も取り組みやすい規模拡大ということも今後検討していただきたい。</p>
18		<p>農業分野でも非常に人手が足りないという実態がある。特に雇用関係での厳しい状況がある中で、農業における外国人労働者の特区申請を早急に進めていただきたいと思う。現実にライバル産地の愛知県や熊本県は特区を申請し、動き始めているということなので、大分もぜひ遅れをとらないようにお願いしたい。</p>
19		<p>農業の改革というところで、地域の天然資源を活用した持続可能な農業の仕組みを創出することにより、商品として付加価値がついていくということもあるし、農地や森林を守ることがグリーンインフラや観光、いろいろな環境保全に繋がると思うので、そういった部分を各一部局が連携して、補助金等に反映していただきたい。</p>
20	商工業	<p>地元の経済団体として、また企業が今後海外展開するうえにおいても、留学生OBが世界百数十カ国に渡っていることは大分にとって宝であり、今後海外展開する企業は連携を強化していかなければいけないと思っている。</p> <p>また、地方創生を確実に実行するということは、これは各団体を代表して出ている我々に課せられた課題であり、県下各地域にある団体事務局がそれぞれに事業を展開し、変化に対応したそれぞれの方針に基づいて、行政と一体でやっていく必要があると感じている。ぜひ各部署の皆様においても我々の団体の事務局とも連携をとって進めていただきたい。</p>

No.	項目	発言要旨
21	商工業	<p>台風第18号による災害に対して、小規模事業者持続化支援事業の補助金申請が11月30日まで行われている。ただこの制度の目的が販路開拓、業務効率化、生産性向上等の取組に資するものとなっており、単なる被災した施設等の復旧や物品の買い換え経費は対象になっていない。</p> <p>そのため、今までのものをそのまま買い換えても申請は通らないので、大型化することによって効率化が図れる等の理屈付けが必要になるという話を聞く。商工会議所がサポートに入っているとのことだが、被災されている中でまだそこまで資料をつくったり読み込んだりするの是非常に大変であり、また11月末までという期限の中で補助金申請にも大変苦労しているという話も聞いている。</p> <p>せっかくいい制度を迅速に導入しているのに、制度、法律的に難しい面もあると思うが、使い勝手のいいかたちで少し弾力的に運用できるようご配慮をお願いしたい。</p>
22		<p>小規模で頑張っている人達を県が応援してくださっていると思うが、産業創造機構との連携という点でも、もう少し目詰まりをよくしていただきたい。</p>
23		<p>人手不足に絡む中小企業の経営支援について、正規雇用に関しては大分県の手不足感は全国で沖縄県に次いで第2位と、非常に多くの企業が人手不足を感じている。また、最近倒産は減っているが、廃業が非常に多い。全国平均では倒産と廃業の比率は廃業が倒産の3倍くらいだが、大分県では9倍くらいある。</p> <p>会社を継続させていくためには正規社員が確立していないと、こういったIT化が進むような環境変化についていけない。このような状況が続くと、さらに廃業が続くんじゃないかと懸念している。特に経営者のみならず従業員が高齢化していると、社内ではIT人材がほとんどいない状況であるので、そういう人材がいなくてどこをいかに支援していくかということが必要になってくると思う。</p>
24	観光	<p>大分県は観光にも非常に力を入れていて観光客数はかなり高水準だが、残念ながら1人あたりの観光消費額は非常に少ない。やはり観光消費を上げる一番は、夜のイベント、ナイトライフを増やして宿泊数を増やすということが重要だと思う。これは観光業者だけではなく無理で、観光周辺産業も巻き込んで、地域づくりの中でそういうイベント、例えば美術館で夜のイベントをやるとか、何かいろんな工夫をすることで、もう一泊したいというような気持ちをつくっていくことが大事だと思う。</p> <p>どうしても観光客数ということに目がいて、観光客数何万人を目指すというものはよくある。すでにやっていると思うが、それよりも1人あたりの観光消費額をいくりにするというような目標指標をつくっていく方がより具体的な取組に繋がると思う。</p>
25	交通	<p>別府・湯布院間は雪や霧のときには必ず通行止めになる。このときには国道210号に車が迂回するが、この国道210号が片側一車線で大変な渋滞になって地域住民も困っている。</p> <p>国道210号が混雑することで人が来なくなるのではないかとも思うので、その整備について国に働きかけをお願いしたい。</p>